

学校教育目標

集団の中で自らを律し
目標の実現に向け努力し
自らを高めようとする姿勢の育成

塚口中だより

〒661-0003 尼崎市富松町4丁目3番1号 (Tel)06-6421-0620 <http://www.ama-net.ed.jp/school/J15/index.html>

今はまだ 頂上の見えない登り道

「2月は逃げる」と言われるように、あっという間に過ぎ去ってしまいました。この28日間は3年生にとって、自分の力で道を切り開かねばならない、大切な時でもありました。

私立高等学校の入学・発表、そして公立高等学校の推薦・特色学科の入試・発表がありました。合格発表を待つまでの緊張を大勢の人が味わったことでしょう。

人生は思う通りいくことばかりではありません。いいえ、思い通りいかないことの方が多いかもしれません。大事なものは本人が「つらい」「不幸だ」と思うことに会った時ほど、その人を大きく成長させる力が働くのです。

志望校に合格できた人、本当におめでとう。でも、それがゴールではなく、人生の目標に向かって長い道のりを行く通過点であることを忘れないようにしてください。不合格を体験した人、立ち直るのには時間がかかるかもしれないけれど、あなたが積んできた努力は、次の道が花開く力になるかもしれません。

山に登っている時、山の頂上は見えません。下っていると思っても、頂上に少しずつ近づいている。登ったと思ったら、また下らねばならない。別の道から登ってきた人に追い越されたり、あとから登ってきた人に追い越されたり。急いで一気に駆け登ったら、身体が低酸素状態に適応できず病気になり下山しなければならなくなる。そんなこといっぱいあります。しかし、前に向かって一歩ずつ歩くことで頂上に近づいているのです。

あせらず、歩みを止めず……です。



そのときはムダだと思ったことが
実に大事なことであったと
となに気づく場合が少
くない
現在という瞬間は
何がムダでどれが有用である
かは判断しかねるものである
それゆえ
生活のどんな部分であろうと
生活の一部であろうと
粗末にできない
むのたけし 著

【食育】

素材のうまみぎっしり

現在、2年生の「家庭科」の授業では「食育」を扱った出前授業がおこなわれています。尼崎市 市民協働局・健康支援推進担当の方を講師として招きました。生徒たちは生活習慣病の話から、日頃の食生活について、そして、素材のうまみを知ってもらうために、「温野菜作り・試食」を体験しています。

日々の生活で野菜をあまり食べない生徒もいる中、今回の体験は「素材の持つうまみ」を舌で感じ、食生活の大切さをしっかり学んだ授業でした。



キ し る に 思 う

カッとなる。キレル。

突発的に、怒り、不安……等が心の中で大爆発を起こす。

日々の生活の中で、怒り、不安が積み重なる。心は破裂寸前……。あとはパンパンに膨らんだ風船に針をちょっと刺すだけで、バーンと破裂するようにキレル。

自分の思いと現実との違い、気持ちのすれ違い、原因は様々ではあるが、あつてしかるべきものである。そして、若者はその違いをストレートな感情でぶつけてくる。それは当たり前のことでもある。

しかし、最近のキレル……というのは若者ではなく、1~2歳ぐらいの子が、一人で自分の思うことができない苛立ちから、「キーン!!」となるのとそっくりである。

現実と自分の思いのくい違いではなく、自分の思いを自分で叶えられない苛立ちのように感じる。君たちはどう考えますか。

卒業生を送る会

2月23日(土)市内中学校特別支援学級の「卒業生を送る会」がおこなわれました。この日のために各校で準備してきた歌・ダンス・楽器演奏などを披露しながら、楽しい一日を過ごしました。本校の仲間は「世界に一つだけの花」をギター・ハンドベル・歌を交えながら披露しました。温かい雰囲気、良い発表でしたよ。



